

# 青谷かみじち遺跡

## NEWS



発行: とっとり弥生の王国推進課  
青谷上寺地遺跡整備室

〒689-0952  
鳥取市青谷町青谷 667  
鳥取市青谷町総合支所 2F  
電話 0857-85-5011

Vol. **16**  
2020 Autumn



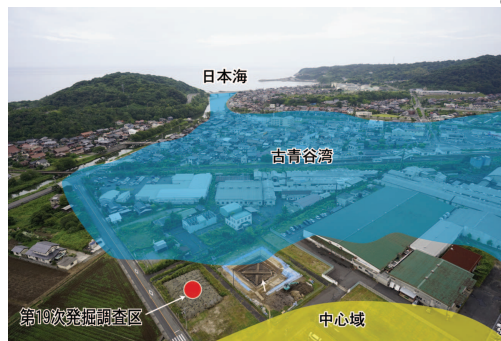
収蔵展示室リニューアル!

青谷上寺地遺跡整備室の収蔵展示室の展示品を新しく入れ替えました。今まで、展示していなかった遺物を見ることができますので、ぜひお越しください。

### 発掘調査が始まりました!

9月14日(月)から青谷上寺地遺跡の第19次発掘調査が始まりました。発掘地点は弥生人の活動の中心だった場所と、弥生時代の青谷平野に入り込んだ内海との境界付近です。交易で栄えた集落の玄関口ともいえる重要な場所であり、港があった可能性を考えています。

昨年までの調査で、海岸近くでは大がかりな土木工事が行われていたことが分かりました。今年の発掘調査でさらに港の痕跡が確認できればと考えています。



弥生時代の青谷平野の様子と今回の発掘調査区

### 地下を覗くもうひとつの方法

「ボーリング調査について紹介します」

地中のようすを探る方法は発掘調査だけではありません。

青谷上寺地遺跡では、地層を筒状に抜き取る「ボーリング調査」を140カ所以上の地点で実施しています。このボーリング調査で採取した地層(ボーリングコア)の土質や、土に含まれる植物・貝の種類などを詳しく調べて分析することで、遺跡の広がりや遺跡周辺の地形とその成り立ちを探る手がかりを得ることができるのです。

現在、遺跡北側で採取した地層と、同じく遺跡北側で行った第18次発掘調査の成果を比較しながら、弥生時代の環境などを復元しています。

2つの調査手法を組み合わせることで明らかになった情報を参考にしながら、第19次発掘調査を行っています。

古墳時代前期前葉  
(3世紀中頃)の造成土

弥生時代終末期  
(3世紀初め頃)の遺物包含層

弥生時代後期後葉(2世紀後半頃)の食べかす(貝殻片)を多量に含む層



ボーリングコアの検討例。

